

第3章 計画の方向性

3.1 計画策定における課題

3.1.1 一般的な課題

○本市における課題を、環境・社会・経済の観点から整理しました。本市の地域特性(資源・魅力・観光資源など)を活かし、地域課題の解決を目指した地域脱炭素計画の策定が必要です。

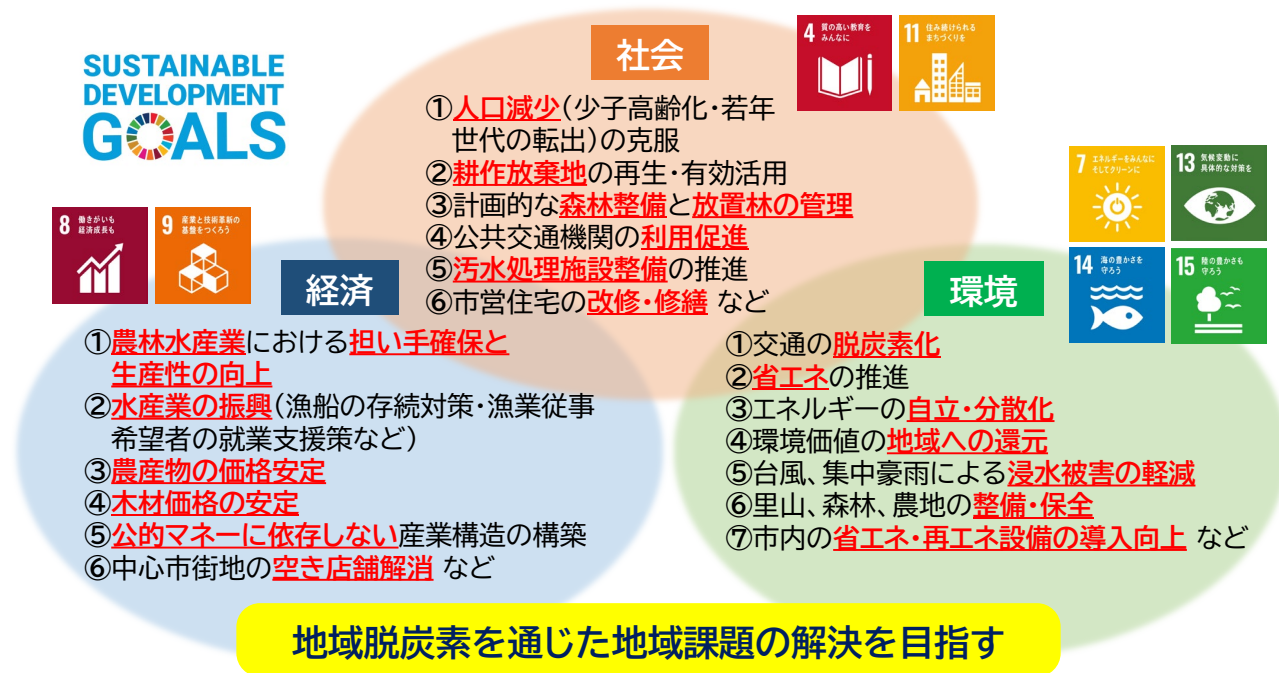


図 本市における主な地域課題

○本市では、これまで日常生活や事業活動において、省エネルギー対策や再生可能エネルギー活用などさまざまな取組を推進してきましたが、国の温室効果ガス削減目標が明確に示されたことを踏まえ、今後さらなるエネルギー使用の効率化や低炭素なライフスタイルに向けた取組が必要です。

○本市では、省エネルギー技術の導入に併せて、公共施設への太陽光発電システム導入や住宅用太陽光システム設置補助事業をはじめとした再生可能エネルギーの導入に努めてきました。今後も省エネルギーの推進と併せて、再生可能エネルギーの活用を積極的に進めていく必要があります。

○化石燃料によるエネルギー資源は、外国からの輸入に頼るところが多く、世界情勢や価格高騰などにより地域産業に多大な影響を及ぼしています。また、その多くは地域外にお金を流出させることになっています。今後は、再生可能エネルギーを活用して地域自らエネルギーを賄うなど、エネルギーの地産地消による地域産業の活性化を進めていく必要があります。

3.1.2 部門・分野別の課題

(1) 産業部門

主要 4 部門のうち、本市では排出量が一番多い部門となっていますが、2013 年から 2020 年にかけて CO₂ 排出量は約 27%減少しています。

これは、事業活動における省エネルギー対策や施設・工場などへの再生可能エネルギーの導入が一定程度進んでいるものと考えられます。今後は、製造業や農林水産業を中心とした基幹産業の振興と温室効果ガス排出量削減に向けた取組の両立をさらに図っていく必要があります。

また、事業者アンケートの結果より、施設・工場などの省エネ・再エネ設備の導入状況は低い水準に留まっています。省エネ・再エネ設備の導入の課題として、事業者の多くが設備の導入・維持コストの高さを挙げていることから、事業者が設備を導入・維持管理しやすい支援制度などを取り入れることで、省エネ・再エネ設備の導入促進を図っていく必要があります。

(2) 業務その他部門

主要 4 部門のうち、産業部門に次いで排出量が多い部門となっていますが、2013 年から 2020 年にかけて CO₂ 排出量は約 31%減少しています。

これは、多くの事業所で地球温暖化対策への取組(省エネ行動、LED 照明、エネファームやエコキュートなどの高効率機器の導入)が一定程度進んでいるものと考えられます。

また、市民のライフスタイルの多様化に応じて、小売業・サービス業における営業時間の長時間化や働き方改革などによる勤務形態の多様化が進んでいます。そのため、従業員の省エネ行動の促進を図るとともに、機器の高効率化や建物自体の省エネ化・再エネ化を通じて、エネルギーマネジメントを強化していく必要があります。

(3) 家庭部門

家庭部門では、2013 年から 2020 年にかけて CO₂ 排出量は約 26%減少しています。

これは、市民の多くが脱炭素に関する取組の必要性を感じ、日常生活の中で省エネ行動などに取り組んでいるものと考えられます。今後は、人口減少の克服に向けた取組(雇用創出や U・I ターンによる若者世代の転出抑制など)と温室効果ガス排出量削減に向けた取組の両立をさらに図っていく必要があります。

また、地球温暖化や脱炭素に向けた取組が市民の生活の利便性向上につながるという認識を広げ、省エネなどの行動の実践につなげるため、脱炭素に関するさらなる啓発や情報発信が必要です。

(4) 運輸部門

運輸部門の排出の多くは、自動車の走行に起因するものです。本市における自動車の保有台数は、2013年から2020年にかけてほとんど変わらないものの、CO₂排出量は約16%減少しています。これは、自動車の低燃費化や次世代自動車(ハイブリッド自動車・電気自動車など)の導入、また、エコドライブの実践が浸透しているものと考えられます。

引き続き、次世代自動車の普及やエコドライブの啓発により、自動車の低燃費化を促進していく必要がありますが、市民・事業者アンケートの結果より、次世代自動車導入の課題として、車体価格の高さや不十分なインフラ(充電場所が少ない)などを挙げていることから、そのような課題に対する具体的な支援が必要です。

さらに、地域の特性上、移動手段が自動車に依存せざるを得ないこと、また、今後の高齢化社会に対応して、公共交通サービスの利便性のさらなる向上など、まちづくりの視点から対策を講じる必要があります。